

2025 JFFID 日本代表候補合宿 [マッチレポート] V S 矢板中央高校

日時	2025年4月27日 15：00kick off					試合形式	80分			
会場	さくらスタジアム					ピッチ状態	天然芝			
日本代表			1	1 0	1set 2set	1 1	2	矢板中央高校		
警告・退場	2set	1set	チーム合計				1set	2set	警告・退場	
	3	8	11	シュート		13	8	5		
	6	8	14	GK		7	2	5		
	1	1	2	CK		4	3	1		
	5	5	10	直接FK		6	4	2		
	0	0	0	間接FK		3	1	2		
	0	0	0	(オフサイド)		3	1	2		
	0	0	0	PK		0	0	0		

【日本】

1 s e t



2 s e t



【矢板中央高校】

1 s e t



2 s e t



【得点経過】

■ 1 s e t

2分[日本] 自陣左サイドのハーフウェイライン付近での直接フリーキックを横井がサイドチェンジパス。そのパスを受けた大野がコントロールしペナルティーエリア手前の松野へパス。松野と相手がボールを奪い合い、こぼれたボール大久保が冷静に左足で右隅にグラウンダーでシュート。

34分[矢板] 自陣左サイドのハーフウェイライン付近から NO.26 が中央の NO.17 にパス。NO.17 は1タッチパスでスルーパス。1タッチのタイミングで背後に抜け出した NO.15 が右足で少し浮かせたシュート。

■ 2 s e t

38分[矢板] 日本の DF ライン・MF ライン間に落ちてきた NO.15 がボールを受け、前向きにドリブルで仕掛け、ミドルシュート。

【交代】

1 s e t

両チームともに交代なし

2 s e t

18分[矢板]	IN	NO.52	⇔	OUT	NO.70
18分[矢板]	IN	NO.15	⇔	OUT	NO.15
24分[日本]	IN	原	⇔	OUT	小川
37分[日本]	IN	幾島	⇔	OUT	武田

ゲームコンセプト

「全員攻撃・全員守備」

■ 攻撃コンセプト

- ・中央突破（2人はDF間突破＋3人コンビネーション）
 - ・サイド崩し（ソロ）（コンビネーション）（ニアゾーン）
- ニア・フルバック・ファー
- ・ビルドアップ
- 少ないタッチ＋パススピード（緩急）＋サポート

■ 守備コンセプト

- ・1VS1で絶対に負けない
- ・前線、中盤の守備、ゴール前の守備（PAに入らない・2ブロックコントロール）
- ・クロス対応（同一視・人をつかまえる・ボールに寄せる・GKとの連携）
- ・プレスバック

■切り替え

【守→攻】

- ・ 1 タッチプレー、カウンター、直線（逆サイド）に飛び出す、インターセプトパス

【攻→守】

- ・ 状況に応じ「ゴールを守る」が優先

ゲーム内容

強風が吹き、気温が 25 度近くまで上昇し、少し暑さを感じる中での試合であった。前半開始 2 分、自陣左サイドのハーフウェイライン付近での直接フリーキックを横井がサイドチェンジパス。そのパスを受けた大野がコントロールしてペナルティーエリア手前の松野へパス。松野と相手が奪い合い、こぼれたボール大久保が冷静に左足で右隅にグラウンダーでシュートし、日本が先取点を奪う。その後、15 分間くらいまでは、セカンドボールを拾い、攻撃の優先順位を意識したプレーも多く、日本ペースで試合が展開される中、佐藤から松野への DF 背後へのロングパスが通り、1 対 1 の決定機をつくったが決めきれず。逆に、相手チームのコーナーキックからあわや失点という場面もあったがゴールポストに助けられた。前半 3 4 分、自陣左サイドのハーフウェイライン付近から NO.26 が中央の NO.17 にパス。NO.17 は 1 タッチパスでスルーパスを出し、1 タッチのタイミングで背後に抜け出した NO.15 右足で少し浮かせシュートで矢板が同点に追いつく。後半に入り、相手に押し込まれる時間帯が多くなったが、守備ラインをコントロールしながらゴールを守る。後半 2 0 分、不用意なバックパスを相手にカットされるが、GK をはじめゴールを守り失点を防ぐ。後半 2 6 分、相手ペナルティーエリア付近での直接フリーキックを下鶴が直接狙うが、惜しくもシュートはクロスバーの上を越す。後半 3 4 分、運動量が落ちてきた日本に対して、日本の DF ライン・MF ライン間に落ちてきた NO.15 がボールを受け、前向きにドリブルで仕掛け、ミドルシュートを放ち、追加点を決め、矢板が 2 対 1 と勝ち越す。後半 3 9 分、途中出場の幾島が相手からボールを奪い、奥田にラストパス。奥田がペナルティーエリア内でのシュートを打つが、GK に弾かれ、セカンドボールを相手 DF がクリアー。その後、矢板にペナルティーエリア内・外からシュートを打たれる場面があったが、そのまま 2 対 1 で試合終了となった。